

新計画 案該当 施策	施策名	委員からの意見（編集）	対応・質問に対する回答（案）
2-4	地域福祉の推進	今は構ってほしくないとか放っておいてほしい等の風潮が強いように思う。	・ご指摘を踏まえて表現を修正しました。
2-4	地域福祉の推進	「おせっかい」は、ネガティブな言葉だと感じる人もいる。また、個人、世代によっても捉えられ方が異なる。	
2-4	地域福祉の推進	その人がどういふことを助けてほしいと思っているのかをきめ細やかに把握し、必要な人に必要な手が差し伸べられるまちであるといいと思う。	・現状・課題に記載しました。
2-4	地域福祉の推進	地域に暮らすのは健康な方もいるため、地域福祉は弱者のためのものだけではないと思う。	・現状・課題に記載しました。
2-4	地域福祉の推進	指標について、検討願いたい。 「等」が多用されていること、「相談拠点」なのか「包括的拠点」なのかが分かりにくいことから、言葉の整理をお願いしたい。 図について、検討願いたい。	・言葉の整理を行いました。 ・指標及び図については、現在地域福祉計画を策定する中で検討を行っていますが、まだ検討段階です。総合計画との整合を図るため、現時点では空欄とさせていただき、検討が進んだ段階で追加することとします。
2-5	生活困窮者等への支援の充実	生活から就労までを包括的に対応できる相談体制があることと、安心して自立した生活ができることは別の話ではないか。相談体制があることで、困っている人が放置されないことや一人きりにならない、そういうまちを目指すということならば理解できる。	・ご指摘を踏まえて表現を修正しました。
2-5	生活困窮者等への支援の充実	相談体制に必要なのは、従事する人の確保や人材の育成である。	・取組方針に記載しました。
2-5	生活困窮者等への支援の充実	「断らない相談体制づくり」という表現は市民に理解いただける表現なのか。身近にアクセスできる相談体制ということだと思うが、分かりやすい表現を検討してほしい。	・ご指摘を踏まえて表現を修正しました。
2-5	生活困窮者等への支援の充実	指標が分かりにくいので、再検討願いたい。	・ご指摘を踏まえて修正しました。 ・支援プラン策定数は、相談を受けるだけでなく、生活改善に向けた計画をきちんと立てているという指標ですので残します。
2-6	消費者行政・防犯対策の充実	高齢者だけでなく消費者被害にあいやすい方全てを含めた見守りネットワーク活動は野洲市独自の活動である。このように独自性のある事業を充実していくような方向性を書いてはどうか。	・見守りネットワークは消費者被害に限らず、市民の異変に気付いて相談に結び付ける事業であることから、生活困窮者施策に移動し、現状・課題に追記しました。